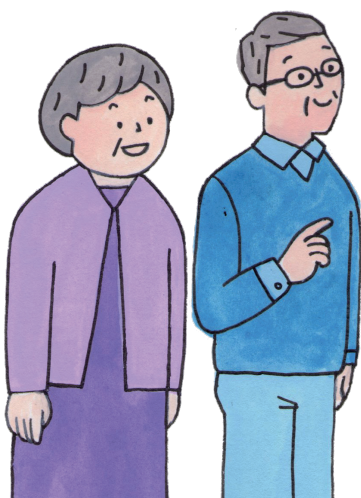


GPIFって、なに？

さまざまな
疑問に
お答えします



年金積立金管理運用独立行政法人
Government Pension Investment Fund



はじめに

日本の未来を支えるための、公的年金。
このパンフレットでは、
その大切なお金の一部をお預かりしている私たちが
どのような活動をしているのか、
国民の皆様にはわかりやすくご説明いたします。

公的年金って？

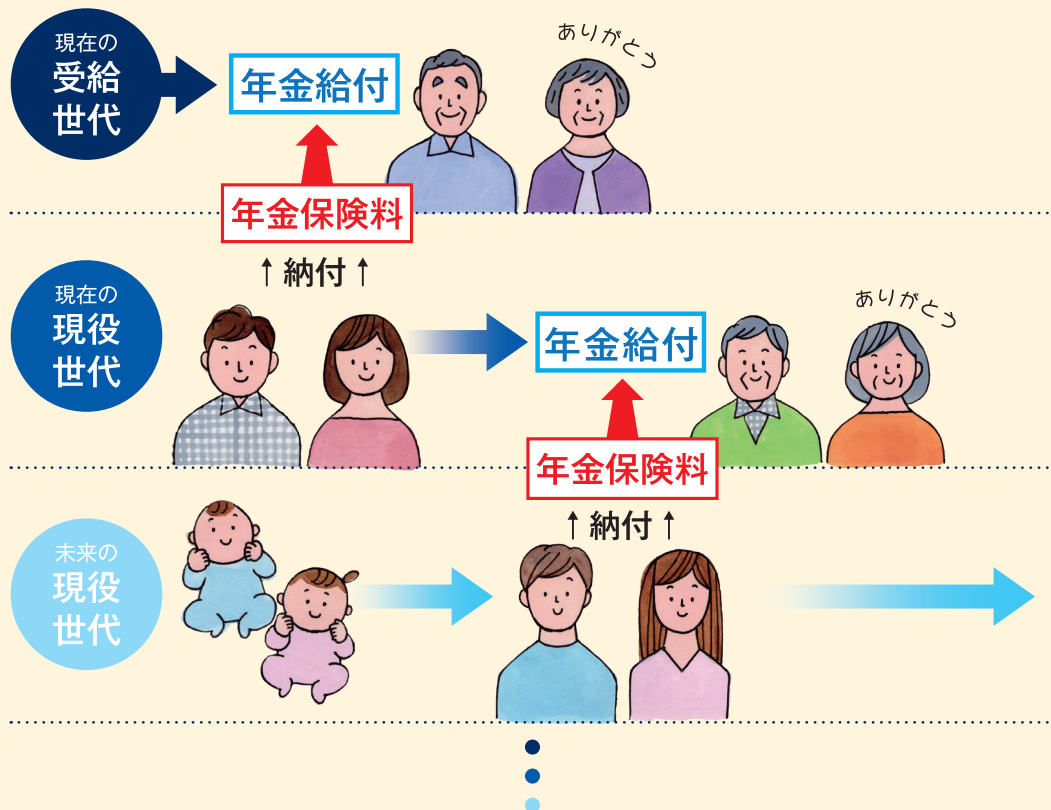
「歳をとって働けなくなる」「病気や事故で障害を負う」「一家の大黒柱を亡くす」などの人生のリスクに備えて、国民みんながお金を出し合う助け合いの仕組みです。特に日本の社会においては、高齢者の暮らしを生涯にわたって支えるものとして、とても大切な役割を果たしています。

※当パンフレットは、国民の皆様にはわかりやすくお伝えするために、一部情報を簡略化しています。画像はすべてイメージです。



まずは、日本の年金制度について、 改めて確認してみましょう。

日本では、高齢者の生活を
現役世代が「支える」制度を採用しています。



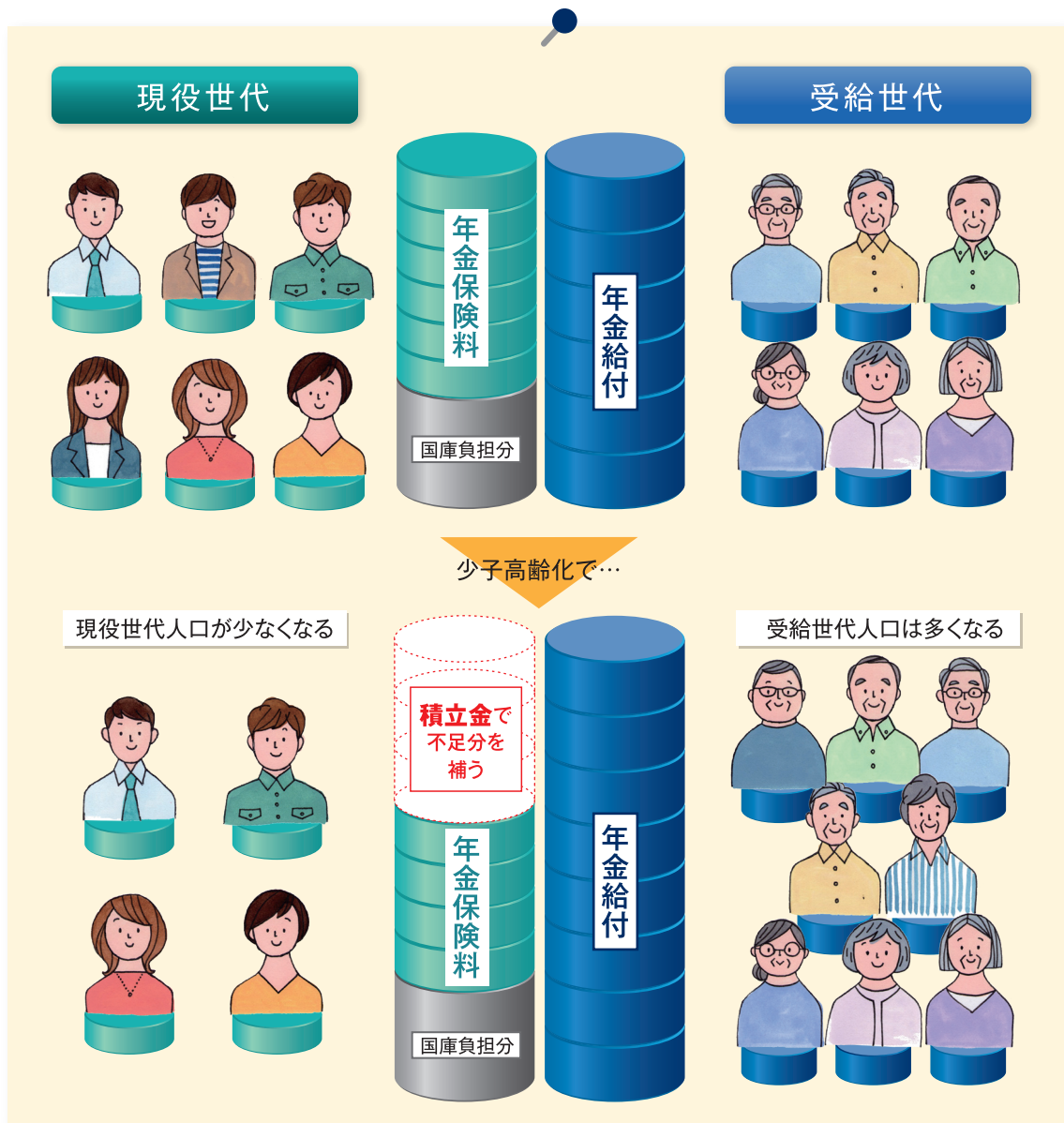
現役世代が納める保険料を、その時々の高齢者世代の年金給付に充てています。つまり、現役世代が将来受け取る年金は、その子どもや孫たちの世代が納める保険料でまかなわれることになります。自分が納めた保険料が将来そのまま戻ってくる仕組みとは異なります。

人口が減っている現代。どんな心配があるのでしょうか？



日本の人口が減ると、 年金はどうなるのでしょうか？

このまま少子高齢化が進むと、将来の現役世代の負担が大きくなりすぎてしまうかもしれません。



公的年金制度が続くように、
「積立金」で不足分を補う仕組みになっています。

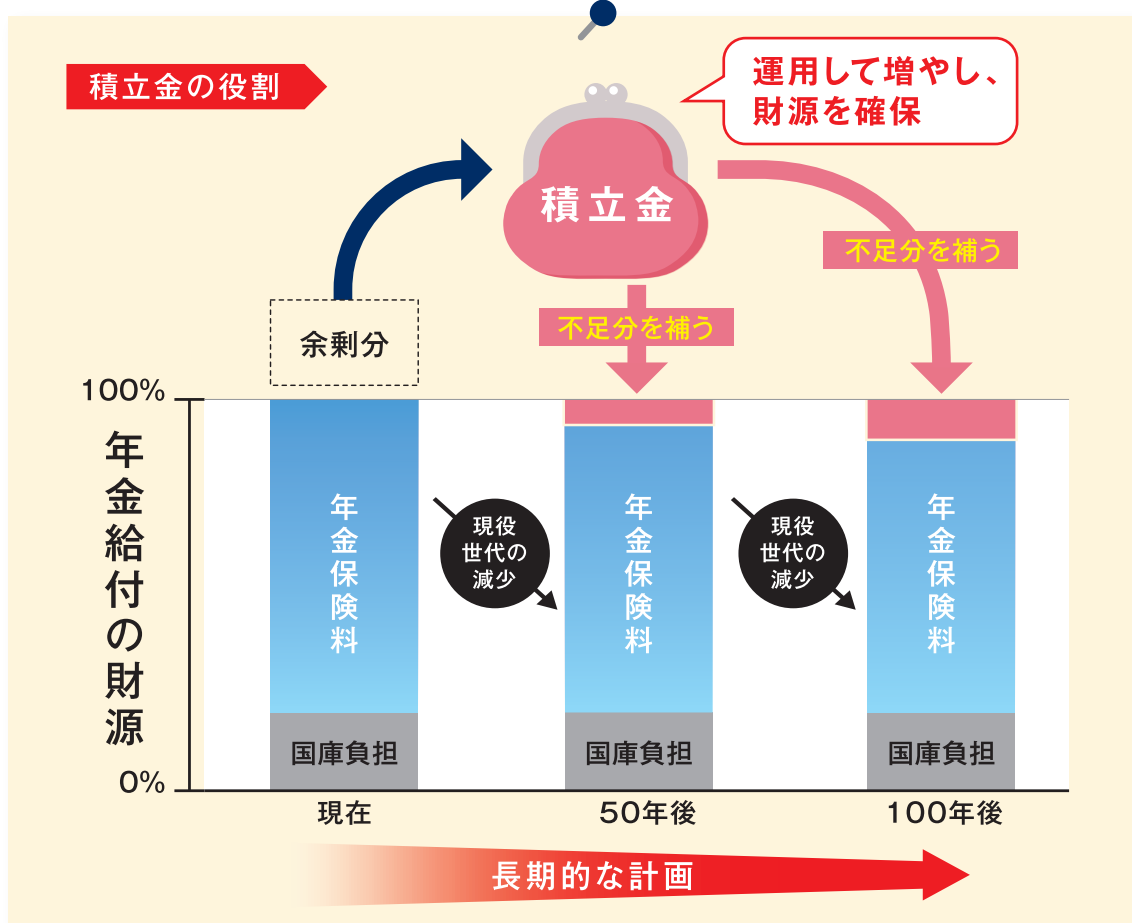
「積立金」の役割について、くわしく見てみましょう。



私たち「GPIF」は、未来の世代のためにお金を運用しています。

どんなお金を運用しているの？

現役世代が納めた年金保険料のうち、年金の支払いなどに充てられなかったものが、将来世代のために積み立てられています。長期的にみると、年金財源全体のうち、積立金からまかなわれるのは1割程度です。



「GPIF」って何の略？



Government = 政府

Pension = 年金

Interest = 投資

Fund = 基金

「年金積立金を運用している公的な機関」を意味する英語から、頭文字をとっています。

GPIFが「よりよい運用」のため行っていることは？



これからも安定して 収益を得ていくために、 GPIFはこんなことを心がけています。

長期的な観点から投資をおこなう

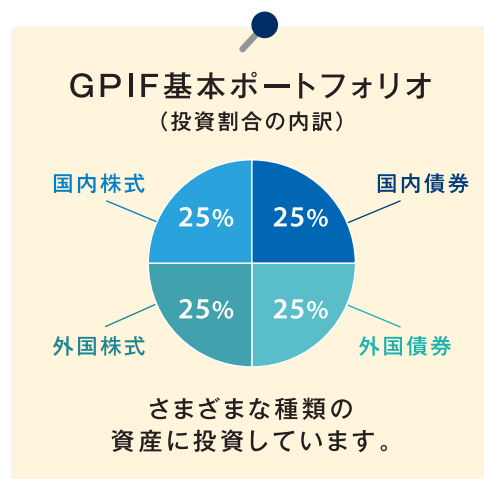
短い期間では、運用によって得られる収益はプラスやマイナスに大きく振れる可能性があります。運用の期間が長くなるほど、プラスとマイナスが互いに打ち消し合うことで、年率平均の収益の振れ幅を小さくする効果が期待できます。

GPIFが運用している年金積立金は、ただちに取り崩す必要が生じるものではない資金です。このため、一時的な市場の変動に過度に捉われる必要はなく、さまざまな資産を長期にわたって持ち続ける「長期運用」によって、安定的な収益を得ることを目指しています。

分散して投資をおこなう

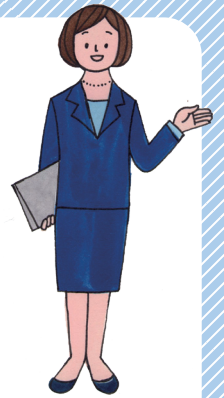
運用する資産は、経済などの状況によってそれぞれの価値が変わるうえに、外国の資産の場合は円高や円安も収益に影響してきます。

ひとつの種類の資産だけでなく、国内外のさまざまな種類の資産に分けて投資をすることで、世界中の経済活動から収益を得ると同時に、大きな損失が発生する可能性を抑える効果が期待できます。

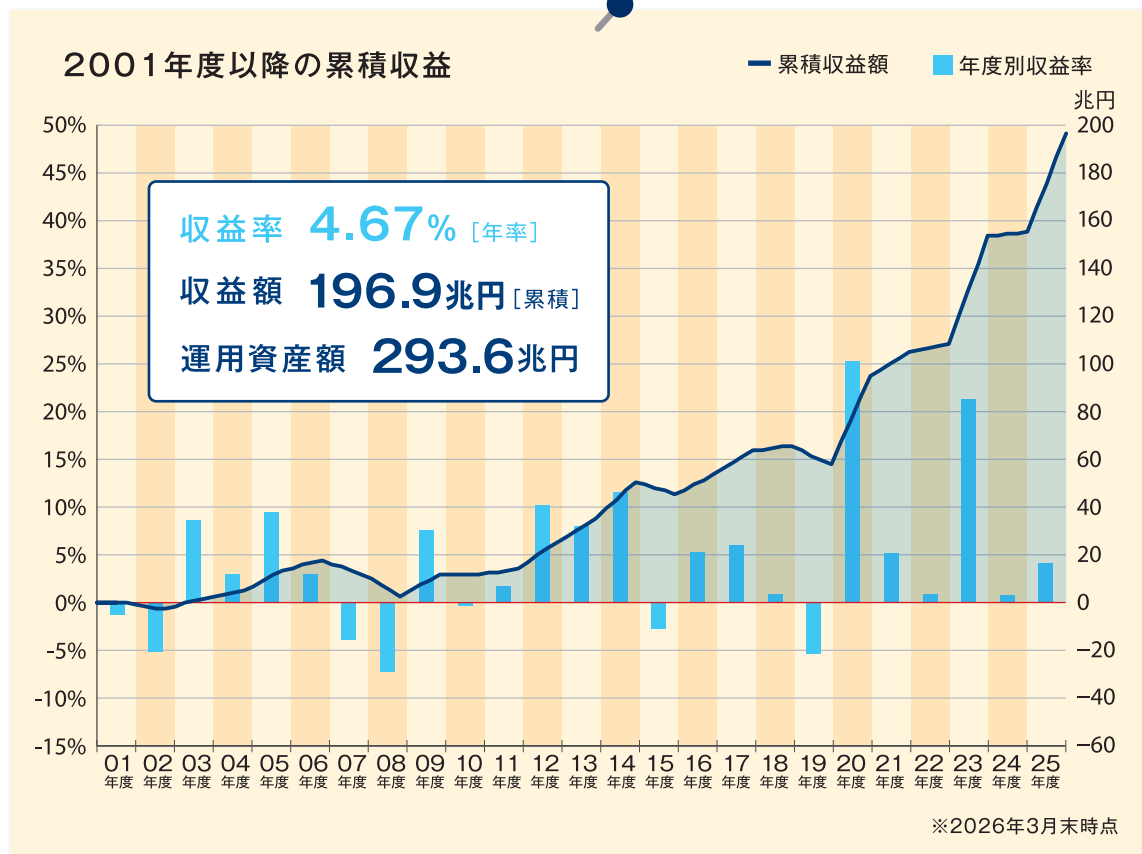


この「長期投資」と「分散投資」の組み合わせにより、
収益の安定を目指しています。

現在の運用成果はどうなっているのでしょうか？



これまでの運用の成果を チェックしてみましょう。



上のグラフは、2001年度からの運用状況です。2025年度末までの累積収益額は約196.9兆円。この先も公的年金制度の中でしっかりと役割を果たすために、長期的な観点から安定的な運用に努めます。

今年の運用結果は、来年の年金に影響するの？

GPIFが運用している積立金は、将来の現役世代の負担が大きくなりすぎないようにするためのお金であり、今年の運用結果次第で、来年の年金支給額が増減する仕組みとは異なります。将来にわたって年金財政の安定化を図ることを目的に年金積立金は活用されます。

よくあるご質問

Q1. 自分が納めたお金が 年金として戻ってくるの？

A. 日本の公的年金制度は、自分が納めたお金がそのまま戻ってくるのではなく、現役世代が納める保険料を、その時々の高齢者世代の年金給付に充てる「世代間の支え合い」の仕組みとなっています。

くわしくはP2へ

Q2. 少子高齢化が進むと、 年金はどうなるの？

A. 高齢者世代に給付する年金をまかなう現役世代からの保険料が少なくなるため、その不足分を補うことが必要になります。高齢者や女性の就業が増加するなどの時代の変化を年金制度に反映することで年金制度の持続性は高まっていますが、加えて、年金積立金の活用により年金財政の安定化を図る仕組みになっています。

くわしくはP3へ

Q3. GPIFって 何をする組織なの？

A. 年金給付のためのお金の一部を、将来の世代のために運用し、増やしています。

くわしくはP4、P5へ

Q4. 今年の運用結果で、 来年もらえる年金額は 変わるの？

A. GPIFが運用しているのは「将来世代のための備え」のお金なので、今年の運用結果がプラスでもマイナスでも来年に受けとる年金額に影響を及ぼさない仕組みとなっています。

くわしくはP6へ

お問い合わせ

年金積立金管理運用独立行政法人 企画部 広報課

〒105-6377 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー 7階

TEL :03-3502-2486 (ダイヤルイン) FAX:03-3503-7398

URL:<https://www.gpif.go.jp/>

